

創エネ神戸は、地球温暖化防止のために ①市民共同発電所のモデルとなる「カレッジ発電所」
②再生可能エネルギーの調査・普及活動 ③子どもへの環境教育活動 を進めます。



1、市民共同発電所のモデルとなる「カレッジ発電所」の推進

(1) あさひ・カレッジ発電所

あさひ・カレッジ発電所は順調に発電しています！

市民共同発電所のモデル第一号として、西区のあさひ保育園に設置しました「あさひ・カレッジ発電所」は、次に示しますように、予想値の約123%で、順調に発電をしています。

	予想値 A kWh	実績値 B kWh	B/A %
10月分	2211	1920	87
11月分	1738	2335	134
12月分	1639	2225	136
2～12月分	27087	33182	123

Webモニタリングサービスを活用して、あさひ・カレッジ発電所の発電状況をウオッチして異常がないかの確認作業も行っています。

あさひ保育園に「発電量表示板」が設置されました。

創エネ神戸が提案して、あさひ保育園と協働製作したものです。園児に「おひさま きょうはいくつ？」と問いかけるものです。詳細は添付資料を参照ください。

市民共同発電所の第二号の設置場所を募集しています。

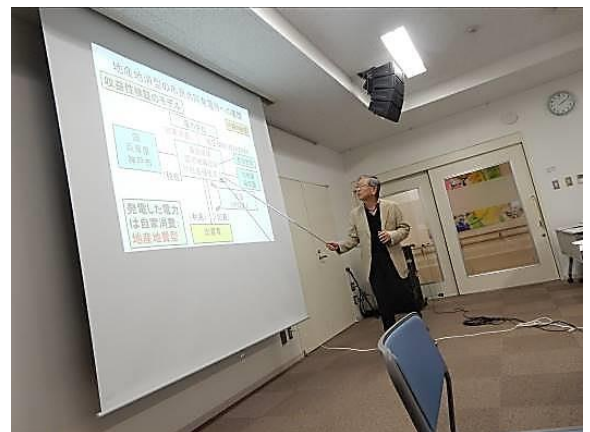


2、再生可能エネルギーの調査・普及活動

(1) 高砂市の再生可能エネルギー推進勉強会

10月28日に高砂市のユーアイ帆っとセンターで開催された勉強会にて、「私立保育園における創エネルギーの実例」というテーマで、あさひ・カレッジ発電所の設置の背景、発電設備概要、計画段階での検討事項、稼働後の実績、地産地消型の市民共同発電所の課題・普及策を紹介しました。

高砂市の再生可能エネルギー推進団体での3つの運営スキームの検討の参考にしてもらっています。



(2) ひなた助産院 太陽光発電システム 見学

11月30日に、西区のひなた助産院に10月に設置された地産地消型で蓄電池付太陽光発電システムを見学しました。施工したワット神戸の真鍋様、ひなた助産院の大内様より説明を聞きました。

非常用電源としての蓄電池の設置の仕組みなどを知ることが出来ました。

詳細は添付資料も参照ください。



(3) カレッジ ジョイラックデイに参加

1月17日の3学期のジョイラックデイに、ふれあいホールにて創エネ神戸の活動紹介をしました。パネル2枚にポスターを展示、プロジェクタにて「あさひ・カレッジ発電所の建設」「夏休み工作塾のソーラーカー作り教室」の動画と「創エネ神戸2017の記録」のパワーポイントを映して説明をしました。

3つのテーブルには太陽の代わりに電球の光を当てソーラーパネルで発電して7つの風車を回したり、電球の光で充電してソーラーカーを走らせたり、扇風機の風で風力発電モデルでLEDを点灯させたり、こどもたちの環境学習の作品について実演をしました。

会員の募集も行いました。詳細は添付資料も参照ください。



3、子どもへの環境教育活動

(1) 2018年度の実施計画

神戸こどもエコチャレンジ21(児童館向け)、神戸エコタウンまちづくり活動(福祉センター向け)、しあわせの村での夏休み工作塾、あさひ児童館など個々に内容の検討を行っています。

また児童の工作に追加するメニューを検討中です。

ソーラーパネルを載せたハウスとそこで発電した電気で回る風車

手回し発電機とそこで発電した電気で回る風車

風力発電の風車の新たな作り方

など

(2) 園児用紙芝居の作成

保育園年長組を対象にした紙芝居の作成を、あさひ保育園と協働しながら進めています。地球温暖化の防止、再生可能エネルギーの普及をテーマにしたシナリオを園児が理解でき、楽しんでもらえるものになるよう検討しました。

【 それゆけ！ 温暖化ストッパーズ！！ 地球温暖化をくいとめろ！ 】

シナリオを創エネ神戸が、紙芝居の絵をあさひ保育園が担当して協働しながら作成中で、ほぼ完成に近づいています。紙とパワーポイントの両方で完成させる予定です。

4、再生可能エネルギーによる市民共同発電に関心がある方へ

一緒に活動をしませんか。ご連絡先は次の通りです。お待ちしております。

創エネ神戸 代表 山田 通裕 (生環18期) ☎:090-7895-5479

メールアドレス: michihiro_0516@yahoo.co.jp

(2018-1/20 発行 広報 岡本紘一 生環18)